

保健医療分野に関する理論と支援の展開

[講義] 第1学年 通年 必修 4単位

《担当者名》○本谷 亮 柳生 一自、中野 倫仁（非常勤）

【概要】

保健医療分野に関する知識および技能を獲得するために必要な体系的な講義として企画されている。

【学修目標】

- DSM-5およびICD-10により精神医学の概要を理解し、記述、説明できる。
- 診察・診断について基礎的な項目を院生同士で実演できる。
- 認知症の診察、評価、治療を説明できる。
- 心理士としておさえておくべき老年精神医学の主要な事項を理解、記述、説明できる。
- チーム医療における心理士への期待と役割を説明できる。
- 代表的な精神疾患に対する心理的アプローチを理解、記述、説明できる。
- 身体疾患に伴う心理的問題、およびその問題に対する心理的アプローチを理解、記述、説明できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|-------|----------------------|-----------------------------------------------------------------|-------|
| 1 | 精神医学および神経学的診察法 | 病歴、精神症状、身体所見の取り方を学ぶ。 | 柳生 一自 |
| 2・3 | うつ病の評価 | HAM-D及びMADRASの評価法をDVDを用いて学び、レポートを作成する。 | 柳生 一自 |
| 4・5 | 統合失調症の評価 | 統合失調症の評価法をDVDを用いて学び、レポートを作成する。 | 柳生 一自 |
| 6・7 | 支持的精神療法 | DVDを用いて学び、レポートを作成する。 | 柳生 一自 |
| 8・9 | 神経発達症の評価と発達支援のあり方 | 子どもの発達について学習し、神経発達症のある子どもの評価、支援について学ぶ。 | 柳生 一自 |
| 10・11 | 精神鑑定 | 代表的な精神鑑定を学ぶ。 | 柳生 一自 |
| 12 | 子どもの虐待対応 | 子どもへの虐待への気づき、対応と人権を擁護する方法を学ぶ。 | 柳生 一自 |
| 13 | 認知症の診察と評価 | 外来場面を想定した症状評価とアセスメントを実習する。 | 中野 倫仁 |
| 14 | 回想法実習 | 老年期心理療法として広く普及している回想法の模擬演習を行う。 | 中野 倫仁 |
| 15 | 老年精神医学のトピックス | 最新のトピックスを紹介し、知識を共有する。 | 中野 倫仁 |
| 16 | チーム医療 | チーム医療における心理士への期待と求められる役割について学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 17 | インテーク面接 1 | 保健医療分野におけるインテーク面接について、意義や必要な事項、留意点を学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 18 | インテーク面接 2 | 保健医療分野におけるインテーク面接について、仮想症例のロールプレイを通じて実際の実施方法、記録の取り方とまとめ方について学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 19 | 精神科病院での公認心理師の業務 1 | 精神科病院における治療や患者の特徴、心理士の役割と業務を学ぶ。また、精神科病院の臨床の実際を理解する。 | 本谷 亮 |
| 20 | 精神科病院での公認心理師の業務 2 | 精神科デイケアの性質、意義について理解し、精神科デイケアにおける心理師の役割を学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 21 | 抑うつ障害に対する心理的アプローチ | 抑うつ障害に対する心理的アプローチの基本構成要素や代表的な技法、必要な配慮について学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 22 | 不安関連障害に対する心理的アプローチ 1 | 不安関連障害（社交不安症）に対する心理的アプローチの基本構成要素、代表的な技法、必要な配慮について学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 23 | 不安関連障害に対する心理的アプローチ 2 | 不安関連障害（パニック症）に対する心理的アプローチの基本構成要素、代表的な技法、必要な配慮について学ぶ。 | 本谷 亮 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|-----------------------|----------------------------------------------------------------------|------|
| | | て学ぶ。 | |
| 24 | 不安関連障害に対する心理的アプローチ3 | 不安関連障害（強迫症）に対する心理的アプローチの基本構成要素、代表的な技法、必要な配慮について学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 25 | 不安関連障害に対する心理的アプローチ4 | 不安関連障害（心的外傷後ストレス障害）に対する心理的アプローチの基本構成要素、代表的な技法、必要な配慮について学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 26 | 睡眠障害に対する心理的アプローチ | 睡眠障害に対する心理的アプローチの基本構成要素や代表的な技法、必要な配慮について学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 27 | 心身症、身体症状症に対する心理的アプローチ | 心身症、身体症状症患者の抱える問題とアセスメント方法、および、当該患者への心理的アプローチの基本的発想、実際、必要な配慮について学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 28 | がん患者への心理的アプローチ | がん患者の抱える問題とアセスメント方法、および、がん患者への心理的アプローチの基本的発想、実際、必要な配慮について学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 29 | 脳外傷・脳血管障害患者への心理的アプローチ | 脳外傷・脳血管障害患者の抱える問題とアセスメント方法、および当該患者への心理的アプローチの基本的発想および実際、必要な配慮について学ぶ。 | 本谷 亮 |
| 30 | 小児疾患に対する心理的アプローチ | 小児疾患に対する心理的アプローチの基本的発想、および実際、必要な配慮について学ぶ。 | 本谷 亮 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

試験 100%

【教科書】

精神医療・臨床心理の知識と技法 医学書院 2016年

【参考書】

精神疾患とその治療 医歯薬出版 2019年

標準精神医学（第8版） 医学書院 2021年

からだの病気のこころのケア 北大路書房 2016年

【学修の準備】

講義の進行予定に従って、教科書の該当部分を事前に予習しておくこと。

予習は、配布資料をよく読み理解に努める。また、担当箇所の発表準備を行う。（80分）

復習は、講義の学習内容を確認して理解できない部分はチェックし、参考書で調べるあるいは担当教員に質問する。また、講義内で扱う基本スキルについて、実技練習を行う。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として社会に貢献することが期待できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【ICTの活用】

学習教材（授業資料）の配信や学習課題の提示ではGoogle Classroomを利用する。また、理解度や出欠確認にgoogle formsを用いる場合がある。詳細は、講義内で説明する。

【実務経験】

本谷 亮（公認心理師） 柳生 一自（医師、公認心理師） 中野 倫仁（医師、公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

専門職としての実務経験を活かし、臨床現場に即した実践的教育を行う。